出店、低コストに
外食、家賃上昇に対応 15

東南アに路線網
LCCバニラ、台湾拠点 13

日本経済新聞
2月18日
木曜日
発行所　日本経済新聞社
東京本社　(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社　(06)7639-7111
名古屋支社　(052)243-3311
西部支社　(092)473-3300
札幌支社　(011)281-3211

マイナス金利 家計にも

日銀のマイナス金利政策による家計への影響が一段と広がってきた。富国生命保険は貯蓄性が高い「一時払い終身保険」（3面きょうのことば）の運用が厳しいため、2月末で販売を一部取りやめる方針を決定。ゆうちょ銀行は貯金金利の再引き下げを検討する。高島屋など大手百貨店は、利回りが高めの積立金サービスの充実で顧客囲い込みに動く。家計には預金金利の低下など逆風が吹く一方、ローン金利引き下げなどの恩恵も混在している。（関連記事3面に）

一時払い終身保険
富国が販売停止

富国生命は17日、営業職員が販売する円建ての一時払い終身保険の取り扱いを2月末で停止すると決めた。長期金利の低下で運用利回りが得にくく、契約者に約束する利回り（予定利率、0・75%）の確保が難しくなったため。マイナス金利政策の導入後に保険商品の販売取りやめが表面化したのは初めてだ。

一時払い保険は契約時に一括して保険料を支払う商品で、退職金の運用先として人気が高い。2014年度の同社の契約数は約8300件だ。ただ、一時払い保険は信用金庫などで根強い人気があり、金融機関の窓口での取り扱いは続ける。

太陽生命保険は一時払い終身保険で約束する利回りを4月から下げ、保険料を引き上げる検討を始めた。販売停止に踏み切る可能性もあり、月内に方針を決める予定。第一生命保険でも子会社の第一フロンティア生命保険が16日に一部の円建て一時払い終身保険の販売を停止。銀行の預金金利が低迷するなか、一時払い終身保険は個人マネーの受け皿になってきた。大手生保も保険料の引き上げや販売の停止を検討しており、追随する動きが広がる見通しだ。

ゆうちょ銀 貯金金利
一段の引き下げも

預貯金の金利引き下げも続きそうだ。貯金残高が約180兆円と国内で最大のゆうちょ銀は貯金金利をもう一段引き下げる検討に入る。9日に貯金金利をそれまでの0・03%から0・02%に下げたばかりだが、三井住友銀行などと並ぶ0・001%まで引き下げるか検討する。

りそな銀行は17日、18日から普通預金の金利を年0・02%から0・001%に下げると発表。金利下げは約5年半ぶりで、埼玉りそな銀行と近畿大阪銀行も引き下げる。

一方、りそなは住宅ローン金利についても主力である10年固定型の最優遇金利を年0・9%と現行より0・15%下げる。他行も住宅ローンの金利を引き下げる検討を進めているようだ。

金利低下で魅力を失った円預金から、資金が外貨預金に流れる兆しもある。静岡銀行のインターネット支店では、米ドルの外貨定期預金（1カ月）の金利を今月末まで20%とする。ジャパンネット銀行も3月末までの預け入れ分を年10%に引き上げた。米ドルの場合、これまでの金利は0・1%だった。

金利面の優位性は高まった半面、ファイナンシャルプランナー（FP）の小屋洋一氏は「為替手数料が生じるので実際にお得になるとは限らない」と語る。

百貨店 利回り高めの積立金
「友の会」入会急増

家計の「預金離れ」を見据え、大手百貨店の間では「友の会」と呼ぶ顧客向け還元サービスの拡充を競う動きが出てきた。

小田急百貨店では会員証の提示で全店の売り場で5～10%引きするサービスを23日まで展開する。大手各社の「友の会」では月5000～5万円程度を積み立て、12カ月たてば1カ月分のボーナスが加算されることが多い。積立金は百貨店での買い物などに使え、金利に換算すると年8%以上に相当する場合もある。

大丸松坂屋百貨店は新規入会や積立金額を増やした顧客に対し、抽選で商品券などを贈る計画を立てる。高島屋では新規の入会数が今月1～14日で前年同期比14%増加。1カ月あたりの積立金が3万円や5万円のコースが人気で、女性を中心に5割増～2倍増の勢いで推移しているという。

プジョー・シトロエン・ジャポンは今月20日から3月21日まで、自動車ローンの金利を0%に設定した販促を実施。JTBでは旅行積み立てプランで、預けた額に上乗せする分を年利換算で1・75%と高めに設定した。旅行に毎年出かける人を囲い込むねらいだ。

マイナス金利の影響が広がる

個人に恩恵の動き

自動車購入
- プジョー・シトロエン・ジャポンがゼロ金利キャンペーン

住宅購入
- 三井住友銀行に続き、りそな銀行も住宅ローン金利を引き下げ

外貨預金
- ネット銀行などが高金利キャンペーン

百貨店
- 積立金などで還元強化

逆風も吹く

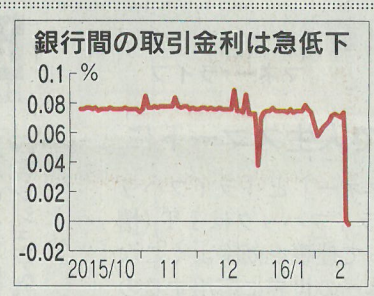
貯蓄
- 三井住友銀行に続き、ゆうちょ銀行やりそな銀行が普通預金の金利引き下げ
- メガバンク各行が定期預金の金利引き下げ

資産運用
- 富国生命が一時払い終身保険の一部販売停止
- 太陽生命が約束した利回りの引き下げ検討
- MMFなど新規受け入れ停止

日銀のマイナス金利政策に伴い、17日の金融市場では銀行どうしが次の日に返済すると約束する短期資金のやり取り（無担保コールの翌日物）で2006年2月以来、約10年ぶりにマイナス金利で取引が成立した。

この日の最低金利はマイナス0・05%で、05年10月に付けた過去最低水準に並んだ。銀行などは日銀に寝かせているお金が多いほど損をするため、それより少しでも損の度合いが小さい取引を選んでいることを示す。

日銀によるとこの日の取引の平均金利はマイナス0・002%で、04年11月以来の低水準だった。「マイナス金利での取引の主役は外国銀行」（短資会社）だという。



銀行間の翌日物金利
10年ぶりマイナス

自動化で未来を拓く
CKD
http://www.ckd.co.jp/

購読のお申し込み
0120-21-4946
http://www.nikkei4946.com/
日経電子版
http://www.nikkei.com/
お問い合わせ(7:00~21:00)
0120-24-2146

春秋

サボテン、扇、ヤジロベエ。何の話かお分かりだろうか。では、ピラミッド、タワーなら？　答えは、組み体操で披露される技の名前である。運動会や体育祭の華といわれるこの演目がいま大きな問題になっている。なにしろ

あなたのオフィスを
もっと省エネ。
改正省エネ法対策にも
換気扇コントローラ　検索
新コスモス電機株式会社

MATSUDA
地球資源の
有効活用カンパニー
～人を豊かに、地球を美しく～
松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.
☎03-5381-0001(大代)
証券コード:7456

療所が3億円。返済期間は10年だ。医療機関は民間金融機関から融資を受けるよりも利払い負担が少なく済む。国は医療機関向けに増改築など様々な融資をしているが、軽症者向け病床への転換を支援する制度は初めて。

政府は昨年6月、重症患者を治療する高度急性期や急性期の病床を25年に今より3割程度減らし、リハビリや自宅復帰を目指す回復期を3倍程度に増やす目標を掲げた。国の支出が増える重症者向けの病床をできるだけ減らして財政悪化を防ぐためだ。

医療機関は病室の改修や職員の配置換えで出費がかさむほか、収入も一時的に落ち込む可能性がある。政府は民間にお金を供給する財政投融資制度を活用し、経営が不安定になる病院を支援することにした。

医療機関が融資を受けるには、各都道府県が今年半ばごろまでにまとめる「地域医療構想」に沿った計画をつくることを条件とする。同構想は団塊の世代が75歳以上になる25年にどれだけの病床が必要になるかの予測をまとめるもの。